

平成26年（ネ）第126号 大飯原発3, 4号機運転差止請求控訴事件

一審原告 松田正 外186名

一審被告 関西電力株式会社

証拠説明書
－控訴審第19準備書面関係－

平成28年2月23日

名古屋高等裁判所金沢支部民事部第1部C1係 御中

一審原告ら訴訟代理人弁護士 佐藤辰弥

同上 笠原一浩

ほか

号証	標目 (原本・写し)	作成 年月日	作成者	立証趣旨	備考
甲254	「若狭湾沿い、高浜町の海岸低地におけるトレンチおよびハンドオーガーによる津波堆積物調査と題する文書 写し	2015.5.24	山本博文ら	山本博文教授らが町菌部周辺の海岸低地において津波堆積物調査を行ったところ、 ①砂粒子としては、特徴的によく円磨された超塩基性岩の岩片を含んでおり、石英粒子は10数%以下と少ない ②所によっては、貝殻片、有孔虫やウニのトゲなどの生物遺骸を含んでいた 等の点で、海岸の砂と類似しており、海側から供給されたと考えられること。 また砂の分布は、海岸から500m以上内陸まで認められ	

号 証	標 目 (原本・写し)	作 成 年月日	作 成 者	立 証 趣 旨	備考
				ること等からすると、津波によってもたらされた可能性があること。 この砂層の堆積年代としては、泥炭層、泥炭質泥層の炭素同位体年代測定結果からすると、14～16世紀頃と推定されること 等	
甲255	論文「「天正地震」と越前・若狭」	写し 2012.3.1	外岡慎一郎	①「天正地震」にかかる被災を伝える資料は、地域的にも年代的にも広範に分布していること ②ルイス・フロイスの書簡は、歴史学上、「洗練された観察眼」「詳述を好む」と高く評価されていること ③同書簡において「若狭には長浜（一審原告代理人注：この音 nagahama は、高浜の takahama と極めて近似するとともに、「近江国の…長浜」とは「別の町」と記されている。）と称する極めて大きな別の町があつて…数時間震動したのち、町全体が恐ろしいことに山と思われるほどの大きな波浪に覆われてしまった」とあること ④同書簡や、天正地震をめぐるその他の文献に関する歴史学的評価 等	

号 証	標 目 (原本・写し)	作 成 年月日	作 成 者	立 証 趣 旨	備考
甲256	東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会 報告要点	写し H23.9.28	中央防 災会議	既往最大クラスの地震津波を検討すべきこと。	
甲257	新聞記事	写し 2015/12/28	日本経 済新聞	政府の津波想定は福井県沿岸部につき7m台となっているが、これにつき、我が国を代表する地震学者である島崎邦彦氏は、「政府の津波想定は東日本では概ね妥当だが、能登半島より西では明らかに過小評価だ」「西日本の日本海側には原子力発電所が多く立地しているだけに、甘い津波想定は禍根を残す」と述べていること、また、島崎氏は、想定のおよそ2倍の津波も想定すべきと述べていること、等	

以上